

[3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

貸借対照表（推計）

資産の部

(単位：千円)

科 目		23年度末	22年度末	増 減
資 産	固定資産	20,767,666	21,136,214	△ 368,548
	有形固定資産	18,227,241	18,746,604	△ 519,363
	その他の固定資産	2,540,425	2,389,610	150,815
	流動資産	2,812,728	2,709,609	103,119
合 計		23,580,394	23,845,823	△ 265,429

有形固定資産は減価償却により減少しますが、その他の固定資産では創立100周年記念引当特定資産が1億円、減価償却引当特定資産が5千万円の増加となります。流動資産では現金預金がキャッシュフロー計算書の繰越支払資金の増加額1億6,448万円増加しますが、退職金財団からの交付金が主である未収入金は6,137万円減少します。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		23年度末	22年度末	増 減
負 債	固定負債	2,257,490	2,426,707	△ 169,217
	長期借入金	860,870	1,027,490	△ 166,620
	学校債	538,500	541,900	△ 3,400
	長期未払金	19,615	35,971	△ 16,356
	退職給与引当金	838,505	821,346	17,159
	流動負債	1,158,586	1,295,176	△ 136,590
	短期借入金	166,620	194,390	△ 27,770
	学校債	103,200	102,400	800
	未払金・前受金・預り金	888,766	998,386	△ 109,620
	計	3,416,076	3,721,883	△ 305,807
基本金	28,413,727	28,234,132	179,595	
消費収支差額	△ 8,249,410	△ 8,110,193	△ 139,217	
合 計	23,580,393	23,845,822	△ 265,429	

退職給与引当金については、特別繰入額を含む1億6,889万円を繰入れしますが、23年度退職者分1億5,173万円を取崩しますので、1,715万円の増加となります。

固定負債のうち、長期借入金は24年度返済予定額の1億6,662万円減少します。流動負債については短期借入金のうち、大学狭山キャンパス校舎建築に対する事業団からの借入金が今年度末で完済となり2,777万円の減少となります。また未払金についても9,227万円の減少となり、負債総額は3億580万円の減少となります。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は1億7,959万円の増加となります。

正味資産	20,164,318	20,123,940	40,378
減価償却累計額	10,649,058	10,151,194	497,864
基本金未組入額	1,044,254	1,244,533	△ 200,279
運用資産－負債総額	1,937,077	1,377,336	559,741

消費収支計算書の帰属収支差額(帰属収入－消費支出)の4,037万円が正味資産の増加となります。

(注) 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

運用資産＝その他の固定資産＋流動資産